

みと 美都



おいしかった80周年記念給食

御津南部小学校
校長室だより
令和5年6月26日
No.11

野外教育活動 5年 絆を深めよう



6月20日（火）・21日（水）の2日間、5年生が設楽町にある「きららの里」へ、1泊2日の野外活動へ行ってきました。

まず、運動場での出発式を行いました。「スローガンにある『絆を深める』を達成するために、『誰かが何かをしてくれるわけではなく、自分は何をしたらよいのかよく考えて行動すること』、『後ろ向きな言葉や仲間を悪く言う言葉を言わないこと』、『自分の安全・自分の命は自分で守ること、そして周りの人の安全も考えること』を意識しようと、校長先生と約束しました。この3日間で、『互いの絆』がぐっと深まることを期待し、野外活動に出発しました。



バスは高速道路を降りると、深い山道に入りました。きれいな川と深い森が見え始めると、子どもたちはワクワクし始めました。山道をしばらく走ると、きららの里に着きました。弁当を班で仲良く食べた後、いよいよ入村式です。校旗を掲げ、きららの里の管理人の方の話を聞き、ログハウスに向かいました。自分のベッドを確認し、協力してシーツなどを敷きました。ログハウスでゆったりと過ごすことができ、みんなで日程の確認やスタンプの打ち合わせなどを行いました。



1日目の夕食はカレーライスです。食事係が担当しました。いろいろな仕事を細かく役割分担してあり、それぞれが自分の仕事をしっかりこなし、手際よく準備をすることができました。どの班もおいしいカレーができ上がり、みんな笑顔で食べていました。片付けも、みんながてきぱき動いて、計画した時間よりずいぶん早く終わることができました。先生の指示を待つのではなく、周りの様子を見て声をかけながら、どんどん仕事を進めることができました。



キャンプファイヤーは、みんなでレクやフォークダンスをしたり、スタンツを披露し合ったりしました。スタンツでは、劇やダンス、パントマイム等、練習を重ねてきた楽しい出し物をグループごとに披露しました。そして、「サイリウムダンス（光の舞）」では、暗くなったファイヤー場にきれいな色の光が浮かび上がり、とても美しいダンスとなりました。ファイヤーの周りで歌ったり踊ったり笑い合ったりして、楽しく心に残るひとときとなりました。

2日目は、朝の集いで始まりました。鳥のさえずりを聴きながら、ラジオ体操を行い、体を目覚めさせました。そして、パンやバナナ、アップルジュースでエネルギー充電完了です。活動に入る前に、楽しく過ごした施設をみんなで一生懸命掃除しました。シーツの片づけに少し苦戦しましたが、5年生の動きがとてもよく、あっという間にきれいになりました。

2日目の主な活動は、木工クラフトと、きららの森での「森林教室」です。木工クラフトでは、ストラップを作成しました。「きららの里」に来た思い出にと、日付やスローガンを入れたり、飾りやきらきら光る雲母を張り付けたりしている子もいました。

きららの森散策では、森の先生から森の役割や、木の特徴などの話を聞きながら、森を歩きました。森の先生の話真剣に聞き、質問に答えたり、木に触ったり、木のおいをかいだりしながら、約1時間30分元気に歩き通すことができました。「疲れた」という声は全く聞かれませんでした。

5年生の活動の様子を見ていて、感心することがたくさんありました。時間を意識して、次に何をするのか自分たちで考えて行動していたこと、ガイドさんや森の先生に気持ちのよいあいさつができたこと等いっぱいありますが、一番は、互いに支え合い、受け入れながら行動できたことです。「みんなでやろうよ、一緒にもりあがろうよ」という声や、優しい言葉ばかり聞こえてきました。また、ふつうは疲れてくると自分勝手な行動が増えてくるのですが、どうしたらまわりが助かるか、自分で考えて行動しようとする子がどんどん増えてきました。そうすることで、全体のあたたかさが増し、安心して生活することもできます。こうやって、5年生のあたたかい雰囲気を作られているのだと改めて感じました。雨も降らず、病人やけが人も無く、もしかしたら、5年生の子たちのがんばりを見て、本当の山の神がごほうびをくれたのかもしれない。すてきな野外活動でした。

